

木造十一面観音菩薩立像並びに脇侍像

平成27年2月27日、川田谷薬師堂地区の新御堂の木造十一面観音菩薩立像は、脇侍像である毘沙門天立像と不動明王立像とともに、桶川市指定文化財に指定されました。

今回の展示では、新指定文化財の公開とともに、これを守り伝えた川田谷の人々の姿を併せて紹介します。

新御堂の木造十一面観音菩薩立像

十一面観音立像を中尊に、左右に毘沙門天、不動明王を配した三尊像。

中尊は類例の少ない四臂（4本の腕）の十一面観音像で、寄木造、漆箔からなり、像高は103.3cmを測る。頭部が後世に差し替えられているが、体部は典雅な藤原様を示す平安時代末頃の美作である。

脇侍の不動明王、毘沙門天像はともに立像で、寄木造、玉眼、彩色からなり、像高は不動明王56.5cm、毘沙門天59.3cmを測る。

運慶様による生彩感のある写実描写を見せる鎌倉時代末から南北朝時代頃の作。毘沙門天像の頭部内面に「應圓」、「隆圓房」の仏師名らしき墨書銘がある。應圓は鎌倉時代末から南北朝時代を中心に活躍した鎌倉仏師で、京都、東京、千葉などでも作品が確認されている。

また体部の像内に文禄2年（1593年）丹後法眼による彩色修理銘札と、宝暦3年（1753年）及び慶応2年（1866年）の彩色修理の銘札が納められている。

平成27年2月27日に、「新御堂の木造十一面観音菩薩立像並びに脇侍像」として、桶川市指定文化財となる。



鑑賞のポイント 十一面観音菩薩立像

・衣文の彫刻

穏やかな肉付けの体部を包む着衣は、その彫り浅く端麗優美な表現は平安時代の藤原様の様式美をみせている。

・当初の姿をとどめる左腕

水瓶を手にする左第一腕と、斜めに下げた掌の一指と二、三指をよじる左第二腕は、まさに藤原様の優美を伝える繊細な動きのある表現を見せる。

右腕は、第一腕と第二腕ともに後世の補作である。



毘沙門天 一墨書一

頭部から頸部の内割り部分に、金剛界大日如来を表す梵字とともに、像を制作した仏師とも考えられる「應圓」「隆圓房」と読める墨書が観察される。

観音信仰

観音菩薩への信仰を支えた教典は『法華経』である。その普門品には観音の利益が説かれ、これが独立して『観音経』となり、人々に大きな影響力を持つ教典となった。平安時代には、観音を本尊とする寺院に、現世利益に加えて来世救済の利益をも求めて多くの貴族や民衆が参詣するようになり、やがて、鎌倉時代以降、西国や坂東を始めとする観音札所への巡礼が盛んとなる。

観音信仰は、民間信仰と関わりを持ちながら引き継がれており、ここでは、川田谷の観音信仰の姿を紹介する。

足立坂東三十三か所観音霊場

江戸時代に至り、庶民の信仰として、西国、坂東、秩父などの観音霊場への巡礼が盛んになり、江戸時代の中ごろには、身近なところに観音霊場を定め、巡礼路が組織されるようになった。

上日出谷の知足院を第一番として、現在のさいたま市北部から鴻巣市に至る間にある足立郡北部の寺院を結ぶ「足立坂東三十三か所観音霊場」もその一つである。これは、知足院の盛典和尚が、元禄15年（1702）に「足立坂東観音霊場記」を著し、併せて巡礼歌を定め、広めたという。

霊場の内、川田谷には次の5か所がある。

- 18番 竹ノ内 無量院
- 19番 市場 普門寺（現 観音堂）
- 21番 砂ヶ谷戸 弥勒院（現 観音堂）
- 22番 薬師堂 西光寺（現 新御堂）

21番札所にあたる砂ヶ谷戸（いさげいと）観音堂にある『足立坂東観音霊場参詣大絵馬』は、文化3年（1806年）に奉納されたことが記されている。

江戸時代の足立坂東観音霊場への参詣の様子をもっとも具体的に知ることができる資料として貴重なものである。

念仏と観音

観音は、現世において人々の願いを受け止めるばかりではなく、来世での救済を担う菩薩である。

このたび指定文化財とした十一面観音菩薩像を守り伝えてきた新御堂でも、女性たちによって、毎月、お斉（とき）念仏が営まれている。念仏の中で、次のように観音の功德が唱えられている。

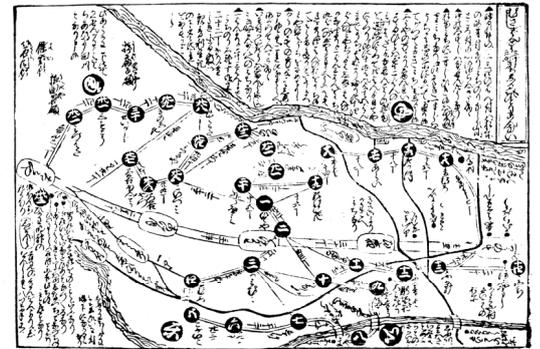
観音 観音 多けれど みより観音慈悲仏
世情の女人を助けるために、血の池地獄にお立ちある
それおば女人は知らずして 観音念ずるひまもなし

新御堂について

新御堂は、中世には河田谷郷と呼ばれた桶川市川田谷の薬師堂地区にある。

その来歴はつまびらかではないが、江戸時代後期、約200年前の『新編武蔵風土記稿』には、すでに新御堂と呼ばれ、観音像が安置されていた事が記されている。

また、川田谷を代表する寺院である東叡山泉福寺と同様に、慈覚大師円仁によって開かれたと伝承があり、近辺の東光寺、西光寺（廃寺）と堂宇を連ねていたという。



「むさしばんどう三十三処みちしるべひとりあない」
(原資料 知足院蔵)



足立坂東観音霊場参詣大絵馬



川田谷 薬師堂地区 新御堂